

2018

秋号

福井市議会議員

八田いちい

議員活動報告



2018秋号

発行者 八田一以

〒910-0826 福井市上中町29-38-1

Tel 090-4680-0849

Fax 0776-54-0849

福井市の発展

市民の幸福

八田一以



福井市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略について

【平成30年6月一般質問】

5年計画の3年目にあたり質問する。国立社会保障・人口問題研究所の予測上方修正により、5年後の福井市の人口目標は必ず達成できる状況になった。目標の上方修正はしないのか？又、計画開始前の平成27年10月の段階で、福井市への転入超過は実現してしまっている。どう評価するか？

（福井市の回答）

人口目標については、5年計画で取り組んでいるので、途中で目標の修正は考えておりません。又、転入超過が実現できているのは、27年12月に策定した本総合計画の子育て支援や教育環境の充実など各種施策の効果が表れているものと考えております。

未来につながるふくい魅える化プロジェクトは、2年間で8千5百万円、今年5千5百万円を投入する。どういう成果を上げたのか？今後、何が期待できるのか？

（福井市の回答）

本市の魅力を生市内外に伝え、本市へ

のさらなる人材流入に繋げることを目標に実施している。福井の魅力を生かした新たな事業が生まれ、地域を超えた新しい人の流れが生まれ、今後は若手人材とのネットワークを維持拡大して本市の関係人口を増やし、本市への移住にもつなげていく。なお、成果の一つ「駅弁越前朝倉物語」は、月平均千個を販売。

ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン骨子案の通り、12月にビジョンが策定されるとしたら、極めて残念な、成果の期待できないものになるのではないのか？地域内連携を強化して圏域全体の経済成長を牽引することが最も重要な取組みだが、ビジョン骨子案に書かれている、地元企業をさらに支援するという、従来からの取組みだけでは無理だ。地元企業が飛躍的に発展し、起業家が次々に生まれることは期待できない。福井市にとって、経済成長・発展のキーは、企業誘致の促進にある。永平寺町にとっても、企業誘致の促進が、福井市との連携に期待する、ただ一つのものです。福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺、流通の一大拠点の開発加速が、重点の施策であるべきである。現状はどうなっているのか？また、古川排水路の治水について、永平寺町とどう連携しているのか？

（福井市の回答）

ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンとは別に、永平寺町との特定の課題については、同町と協議して進めてまいります

【平成30年6月一般質問 続き】

(福井市の回答 続き)

福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺の開発については、引き続き永平寺町と情報共有、意見交換を行ってまいりたい。

平成28年に永平寺町と共に当該地域の土地利用規制の緩和を求める国家戦略特区を提案したが、今年3月、本提案に対する農水省の指導があり、今後は地域未来投資促進法を活用することによって、農用地区域からの除外等が可能であるとの考えが示されました。今後は、これを活用して、インターチェンジ周辺の企業立地を推進してまいりたい。

古川排水路の災害対策、改修計画等については、受益地である永平寺町、土地改良区、県との連携、協議が必須です。この5月には本市と永平寺町間で今後の対応について協議したところです。抜本的な解決策は、流出先の荒川の改修が前提になるので、国及び県に対して強く要望していくことを、同町と互いに確認しました。古川排水路の改修をどのような手法で取り組むか関係機関と協議します。

6か月前、福井市は、都市再生緊急整備地域の候補地域に選定された。民間による事業の有効な支援策になると思う。進行の状況は？

(福井市の回答)

5月末に地域整備方針案を内閣府に提出。次期政令改正時に指定される予定です。

2018. 6. 13
一般質問2018. 5. 23 一真会
トップリバー視察2018. 5. 22 一真会
内閣府宛陳情2018. 5. 16 岡倉天心像
移設除幕式

中核市への移行と

外部からの評価について

【平成30年9月一般質問】

6月県議会でも福井市の中核市への移行に同意を得られなかったのは、県が、市職員が多すぎて市職員の給与が高すぎるなど言ったからです。市に対する外部からの評価ですが、県に言われたのでは、中核市への移行は進まない。しかし、福井市財政再建計画は良くできている。県の同意が得られると思う。財政再建計画と中核市移行について、市の覚悟と決意を聞きたい。

(福井市の回答)

財政再建計画で、総職員数を目標最終年度に▲104人、一般行政部門は中核市定員モデルと同数の1,374人(▲56人)とする。又、職員体制を見直して、5級職員数の是正と非管理職6級職員の見直しを職員組合と協議のうえ実施して給与の適正化を図り、最終年度、結果的にラスパイルズ指数の100以下を見込む。市税徴収率の向上のため、税務部門職員数を増強する(+14名)。28年度不納欠損処分額327百万円は多い(県:97百万円)。法人の廃業・倒産分2億円を含む。適正化に努める。これら計画を市民のご理解を頂きながら確実に進める。また、中核市に移行して、質の高い行政サービスを提供しつつ、中核市福井の魅力を全国にアピールできるように全力を尽くす。

【平成30年9月一般質問 続き】

監査委員制度に基づいて、今現在も、経常的に福井市は外部からの評価を受け続けている。近年の監査報告では、市の財務事務執行の適正性、合理性、効率性について極めて高い評価になっている。指摘事項も意見も殆どない。市職員の仕事振りは素晴らしいとの評価だ。行政監査報告の意見への対応を聞く。

「27年度に保健センターと清水保健センターが漸く統合されたが、予算執行も事務処理も、実態は各々で実施して形式だけだ。実質的に統合して事務の効率化を図りたい。」

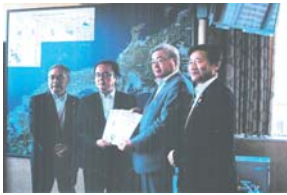
（福井市の回答）

予算科目は、施設毎の経費の把握が必要です。清水保健センターは清水高齢者福祉センターとの複合施設なので、施設毎に区分した予算措置が必要です。自家用電気構作物と消防設備の保守点検業務は統合して事務効率化しました。

工事監査報告は、平成25年度以降、監査委員の指摘事項も意見も全くない。事務執行振りは素晴らしいと評価されている。24年度の意見には、どう対応したのか？

（福井市の回答）

①24年度の入札において、組合と組合員が共に入札に参加した事例があった。監査委員の意見に従って、25年4月以降は組合が参加する場合は、組合員の参加を認めないこととした。



2018.7.18 市長同行
国土交通省
近畿整備局宛陳情



2018.7.4 一真会
IT農業メロン生産
(株)大和コンピュータ視察



2018.7.3 一真会
寅さん記念館視察



2018.7.2 一真会
鴨川市「里のMUJI
みんなみの里」視察

②構造設計の分かる職員の育成に関する、監査委員の意見に従って、国土交通大学校に研修生の派遣を開始した。建築構造については24年度以降、道路構造については27年度以降に毎年一名を派遣している。他研修し、職員の能力向上に努めている。

監査委員監査結果が良好なので、福井市は全国の自治体に胸を張れる状況にあると考えるか？

（福井市の回答）

胸を張れるとは考えていないが、建築技術に関する全ての職種の職員が庁内にバランス良く揃い、又、互いに学べる環境が整っている。更に、専門知識を深めることが課題です。

中核市の義務である、外部からの評価（外部監査制度）を導入したある中核市は、多数の法令規則違反を指摘された恥ずかしい中核市だった。福井市の導入スケジュールはどうか？

（福井市の回答）

今月の県議会会で福井市の中核市移行に同意が得られた場合、12月の市議会に包括外部監査制度導入に係る条例を上程し、来年3月の市議会に包括外部監査契約に関する議案を提案する予定です。

外部からの評価制度である外部監査制度は、市議会と連携することにより、より一層その機能を発揮すると考える。

老人クラブへの補助金について

【平成30年9月予算特別委員会】

①団体あて補助金の今年度の対象団体数・総額は、685団体、511百万円です。来年度は、10%、5千万円削減が目標ですか？

(福井市の回答)

今後変動するので、正確な金額は今言えない。

②5年間で約250百万円は削減するのか？

(福井市の回答)

シミュレーションどおりです。

③補助金で人件費を賄う場合は、削減率を縮小するというが、今年度の予算で、その人件費の金額は分かっているはず。

(福井市の回答)

年間に一億円です。

④来年度50百万円位の補助金を削減した予算案が、来年3月議会に上程されるのか？

(福井市の回答)

そうです。

⑤老人クラブあての補助金の対象団体数と総額はいくらか？削減の方針は決まっているか？

(福井市の回答)

219団体、16,992千円です。削減の方針は決まっています。

⑥市老人クラブ連合会(市あじさい元気クラブ)に幾ら？地区連合会に何件幾ら？単位老人クラブに何件幾らか？内訳を教えてください。

(福井市の回答)

市連合会5,591千円、地区37団体74万円、単位宛81団体10,661千円です。



2018. 9. 19
建設委員長報告



2018. 9. 13
予算特別委員会



2018. 8. 30 一真会
北海道農業公社視察



2018. 7. 31市長同行
国土交通省宛陳情

【平成30年3月予算特別委員会 続き】

⑦補助金削減とともに、単位老人クラブ宛補助金支給基準の見直しはしないのか？会員30人も会員60人のクラブも58,900円だ。不公平ではないか？

(福井市の回答)

活動内容は会員数で変わらない。変更は不要。但し、会員数基準もありえるので検討はする。

⑧市連合会宛に補助金は29年度5,505千円。市連合婦人会宛に115万円。会員数基準によると思うが、それでも老人会の方が50万円も多い。事業・活動支出額ベースでは3対2。不公平ではないか？

(福井市の回答)

比較したことがないし、比較は難しい。

⑨老人クラブ会員数、加入率の低下が急速に進む。今年4月1日現在の会員数・加入率は？何故低下した？

(福井市の回答)

会員数8,381人、加入率9.3%です。老人会活動が若手高齢者に魅力的ではない等だからです。

⑩会員数向上のための市の具体的な施策は何か？

(福井市の回答)

今年度、新規会員加入促進事業を補助対象に加えた。東藤島地区の老人クラブ会員数が市内で最も多い。

⑪地域的に偏りがあるのではないか？↓市回答YES
⑫去年の監査委員監査報告に、意見が付いている。老人関係の補助金が7種類もある。より効率的で効果的になるよう検討されたいというもの。検討はしたか？

(福井市の回答)

敬老事業補助と老人クラブ補助は統合できません。

⑬監査委員の意見の真意は、仕組み、体制を変える検討を今すべきだ、ということですよ。